

2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月8日

上場会社名 株式会社RKB毎日ホールディングス
 コード番号 9407 URL <http://rkb.jp/holdings>

上場取引所 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 良次

問合せ先責任者 (役職名) グループ経営企画局担当局長 (氏名) 古賀 輝

TEL 092-852-6624

四半期報告書提出予定日 2019年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	18,532	△2.1	1,195	△21.3	1,331	△19.6	873	△19.8
2018年3月期第3四半期	18,925	△0.5	1,518	5.0	1,657	6.2	1,088	△13.5

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 301百万円 (△83.4%) 2018年3月期第3四半期 1,816百万円 (7.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	398.33	—
2018年3月期第3四半期	496.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	44,982	33,382	72.6
2018年3月期	46,625	33,282	69.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 32,664百万円 2018年3月期 32,544百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	90.00	90.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,380	△0.7	1,750	△20.6	1,870	△20.6	1,190	△22.7	542.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期3Q	2,240,000 株	2018年3月期	2,240,000 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2019年3月期3Q	47,655 株	2018年3月期	47,655 株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期3Q	2,192,345 株	2018年3月期3Q	2,192,476 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
3. 参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国経済は、企業業績や雇用環境の改善が見られるものの、自然災害による経済への影響、株式・為替市況の不安定化や米中貿易摩擦による世界経済の減速懸念が広がり景気の先行きは依然不透明な状況です。

そのような状況の中、主力のテレビスポット広告費の福岡地区投下量が前年を下回る厳しい状況でしたが、放送事業収入は前年をわずかに上回りました。一方、システム関連事業およびその他事業収入は前年を下回りました。営業費用は、前年同期にあったシステム関連子会社における退職金制度変更に伴う引当金の取崩し3億63百万円がなくなりましたが、売上原価の減少により前年を下回りました。その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は185億32百万円（前年同期比 2.1%減）で減収となり、営業利益は11億95百万円（前年同期比 21.3%減）、経常利益は13億31百万円（前年同期比 19.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億73百万円（前年同期比 19.8%減）でいずれも大幅な減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①放送事業

放送事業は、収入128億43百万円（前年同期比 0.1%増）、営業利益11億26百万円（前年同期比 17.3%減）となりました。

テレビ部門は、収入112億7百万円（前年同期比 0.4%増）となりました。主力商品のスポット収入は、通信、化粧品・洗剤・トイレタリー、輸送機器などが落ち込み0.4%減となりましたが、タイム収入は0.6%増となりました。

ラジオ部門は、収入16億35百万円（前年同期比 1.8%減）となりました。タイム収入は0.1%増となりましたが、スポット収入は7.3%減、制作収入も0.6%減となりました。

②システム関連事業

システム関連事業は、収入29億66百万円（前年同期比 4.7%減）、営業損失91百万円（前年同期は営業利益44百万円）となりました。

ソフトウェア開発は増収となりましたが、機器販売が大幅に減少し減収となりました。しかしながら、受注獲得は好調に推移しております。利益面では、前年同期にあった退職金制度変更に伴う引当金の取崩しがなく、営業損失となりました。

③不動産事業

不動産事業は、収入7億96百万円（前年同期比 0.9%増）、営業利益8億34百万円（前年同期比 2.6%増）となりました。

テナント収入の増加により増収増益となりました。

④その他事業

その他事業は、収入19億25百万円（前年同期比 12.1%減）、営業損失48百万円（前年同期は営業損失48百万円）となりました。

催事部門では、JR九州ホールで「アートアクアリウム展2018」、百道浜で芸術花火大会「シーサイドももち花火ファンタジアFUKUOKA2018」を開催し、多くの入場者を集めました。このほか、今年3回目を迎えた福岡縣護国神社での野外音楽イベント「福岡音楽祭音恵ONKEI2018」、福岡アジア美術館で「ミュシャ展～運命の女たち～」等を開催しました。また、福岡市との「The Creators」、北九州市との「TGC KITAKYUSHU 2018」等、行政と連携したイベントも前期に引き続き実施しました。前年同期に比べ催事数が減少したことにより減収となりましたが、利益面では利益率の高いイベントの増加で前年同期と同水準となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ16億43百万円減少し、449億82百万円となりました。これは主に、回収等により受取手形及び売掛金が12億1百万円、株価の下落により投資有価証券が8億77百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末に比べ17億43百万円減少し、115億99百万円となりました。これは主に、支払等により未払費用が7億31百万円、支払手形及び買掛金が2億67百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億円増加し、333億82百万円となりました。これは主に、株価の下落によりその他有価証券評価差額金が5億87百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を8億73百万円計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2018年11月14日に公表致しました予想数値から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,064	8,986
受取手形及び売掛金	4,197	2,995
有価証券	64	129
たな卸資産	71	636
その他	2,502	2,724
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	15,898	15,471
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,643	6,468
機械装置及び運搬具（純額）	1,012	962
土地	13,320	13,320
その他（純額）	1,574	1,396
有形固定資産合計	22,550	22,147
無形固定資産	280	295
投資その他の資産		
投資有価証券	5,556	4,678
その他	2,339	2,390
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	7,895	7,067
固定資産合計	30,726	29,510
資産合計	46,625	44,982
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	476	209
未払法人税等	136	182
その他	3,832	2,886
流動負債合計	4,446	3,278
固定負債		
退職給付に係る負債	5,270	5,084
その他	3,626	3,236
固定負債合計	8,897	8,320
負債合計	13,343	11,599

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	560	560
資本剰余金	4	4
利益剰余金	30,696	31,372
自己株式	△183	△183
株主資本合計	31,077	31,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,579	992
退職給付に係る調整累計額	△112	△81
その他の包括利益累計額合計	1,466	910
非支配株主持分	738	718
純資産合計	33,282	33,382
負債純資産合計	46,625	44,982

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	18,925	18,532
売上原価	11,123	10,957
売上総利益	7,802	7,574
販売費及び一般管理費	6,283	6,379
営業利益	1,518	1,195
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	107	110
その他	31	26
営業外収益合計	140	138
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	2	1
営業外費用合計	2	1
経常利益	1,657	1,331
特別利益		
固定資産売却益	-	0
補助金収入	-	29
特別利益合計	-	30
特別損失		
固定資産除売却損	0	1
ゴルフ会員権評価損	5	1
解体撤去費用	-	21
特別損失合計	6	24
税金等調整前四半期純利益	1,651	1,338
法人税等	549	477
四半期純利益	1,102	860
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	13	△12
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,088	873

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	1,102	860
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	678	△587
退職給付に係る調整額	35	28
その他の包括利益合計	714	△558
四半期包括利益	1,816	301
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,801	317
非支配株主に係る四半期包括利益	14	△15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計上については法定実効税率をベースとし、年間予測税率により計算しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,831	3,113	789	2,190	18,925	—	18,925
セグメント間の内部売上高 又は振替高	161	59	639	966	1,826	△1,826	—
計	12,993	3,172	1,428	3,157	20,751	△1,826	18,925
セグメント利益又は損失(△)	1,363	44	813	△48	2,173	△654	1,518

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△654百万円には、セグメント間取引消去3百万円、当社における子会社からの収入201百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△859百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	放送事業	システム 関連事業	不動産事業	その他事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,843	2,966	796	1,925	18,532	—	18,532
セグメント間の内部売上高 又は振替高	115	43	637	1,042	1,838	△1,838	—
計	12,959	3,009	1,433	2,967	20,370	△1,838	18,532
セグメント利益又は損失(△)	1,126	△91	834	△48	1,822	△626	1,195

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△626百万円には、セグメント間取引消去3百万円、当社における子会社からの収入200百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△831百万円が含まれております。全社費用は、当社のグループ経営管理事業に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 参考情報

RKB毎日放送株式会社 売上高の内訳

(百万円未満切捨て)

	前第3四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)		増減	
	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)	金額(百万円)	百分比(%)
テレビ収入	11,280	77.5	11,278	78.2	△1	△0.0
ラジオ収入	1,713	11.8	1,681	11.7	△31	△1.9
その他の収入	1,560	10.7	1,460	10.1	△99	△6.4
合計	14,553	100.0	14,420	100.0	△132	△0.9